



## マコト歯科クリニック

# 喜地 誠院長

JR 池袋駅南口・メトロポリタン口より徒歩約5分、街の喧騒から少し離れたエリアのマンションの1階に「マコト歯科クリニック」はある。通り側は入り口も壁も全面がガラス張り。降り注ぐ太陽光が心地よい待合室は、十分に明るく柔らかな雰囲気。内装は落ち着いた印象だが、一部を鏡張りにするなど、さりげなくスタイリッシュに仕上げられている。「インテリアは清潔感を重視し、さらにはリラックスできるデザインにしてもらいました。その一方で、一般的な歯科医院とは感じを変えたいとも考えて、少し変化も付けてあるんですよ」と穏やかな笑顔で話してくれた喜地誠院長。生まれも育ちも豊島区とのことで、地域に対する愛着もひとしおだと言う。診療理念、経歴、さらにはプライベートに至るまで、じっくりとお話をお聞きした。

(取材日 2014年5月23日)

コミュニケーションを大切に、衛生面も使用する水にまで配慮

「クリニックの理念と特長を教えてください。」

患者さんに喜んでいただける歯科医療をご提供したいと考えています。美味しい食事を楽しむために、会話を楽しむために、美しい笑顔のために、生涯にわたってお口の健康を維持していただきたいと思うんです。そのお手伝いができたらうれしいですね。特長は、歯周病治療と、それに関連した義歯やインプラントなどの補綴(ほてつ)治療を中心に行っていることでしょうか。一般歯科から、審美治療まで全般的に対応可能です。私自身が歯周病治療の専門医ですので、段々と歯周病の患者さんが多くなってきました。私がかつて在籍していた東京医科歯科大学と提携しており、池袋がターミナル駅でアクセスが良いことから、遠方の方にもお越しただけるようにもなってきました。

「設備のこだわりはありますか？」

診療ユニットの選定にこだわりました。診療機器の性能は歯科治療の精度に直結すると考えています。当クリニックで導入した診療ユニットは、モーターの回転数を任意に変えられる機能を搭載していて、歯科治療を精密に行うことが可能です。さらに、歯を治療する時に使用する水やうがいを行う水は診療ユニットで毎日消毒されるシステムも有しています。衛生面には神経を使っていて、他にも器具の消毒、滅菌のための設備も各種揃えてあります。さらには、咬み合わせの治療を高い精度で行うための設備を整えています。

「診療の際、心がけていることはありますか？」

コミュニケーションを大切にしています。クリニックに通っていただくためには、治療の意味や内容を理解していただく必要があります。それを上手く理解していただくために、しっかりと意志を疎通させるコミュニケーションができなければいけないと思うんです。また、治療方法の提示においては、考えられる選択肢をすべて説明するよりも、患者さんのご要望を把握した上で、それにもっとも合致し、なおかつおすすめてできる治療法を2つ選んで、それを比べて考えていただくようにしています。それ以外の選択肢は訊ねられたらお答えしますが、まずはおすすめる2つに絞ったほうが、患者さんがご理解しやすいと思います。

わからないことから興味が湧き、歯周病治療の専門医に

「開業前の経歴をお聞かせください。」

東北大学歯学部を卒業後、出身地の東京に戻り東京医科歯科大学の歯周病学講座に入局しました。臨床の場で、歯周病治療だけは、その病気がどういふものなのか理解しずらかったんです。他の治療についてはそれぞれをなんとなくでも理解できたのですが、歯周病治療だけはピンとこなくて、わからないから逆に興味が湧いて、まずはそこを勉強したいと考えました。東京医科歯科大学には約9年間在籍しました。結果として、当初思っていたよりも長く居ることになったのですが、それだけに多くの症例を経験することができましたし、何よりも患者さんを長く診させていただくこ

### マコト歯科クリニック

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-2-14 タイム西池1F

TEL: 03-6914-0089

歯科/池袋駅

DATA



ドクターズファイル

で

検索

とができて、治療経過を追えたことがとても勉強になりましたね。手術も多く経験できました。臨床がメインでしたが研究にも取り組んで、学位も取得できました。現在の診療にも活かされているので、とても充実した時期でした。

—その後は、どのような経験をされましたか？

歯周病専門医取得と、歯学博士の学位取得を区切りとして大学を離れ、次は兄が経営していた歯科クリニックに勤務しました。兄のクリニックは、矯正と審美歯科を専門的に行っています。実は、東京医科歯科大学に在籍していた4年目くらいから、週に1回のペースで働いていました。歯周病を患っている方もいるので手伝ってほしいと言われまして、ですから、歯周病の患者さんを担当する



ことが多かったのですが、歯周病治療以外の審美治療やインプラント治療などの経験も積むことができて、技術の幅も広がりました。兄のクリニックで延べ10年間勤めて、その後に関業しました。十分に技術と経験を積んでから開業したいと思っていて、40歳が近づいてきた頃に、自分自身で納得できるレベルまで来れたと思い、開業を決意しました。

—補綴治療については、いつ頃から勉強を始めたのですか？

補綴治療についての詳しい勉強を始めたのは、30歳を過ぎた頃からです。歯周病の治療と関連して、咀嚼機能を回復させる治療に取り組む必要があることを実感しました。最初は独学で始めたのですがそれだけでは足りず、勉強会に積極的に参加するようになりました。併せてインプラントや、噛み合わせについても勉強しました。それらについての知識・技術も、咀嚼機能を回復させるのに必要です。今でも、月に3、4回は勉強会に出ています。まだまだ勉強することがありますし、最良の知識を勉強し続け、患者さんに還元していきたいと思っています。

### 豊島区で生まれ育ち、池袋という街にもひとしおの愛着を持つ

—歯科医師になるうと思っただきかけを教えてください。

兄の影響が大きいですね。6歳離れていますので、私が高校生の頃にはもう歯科医師になる直前くらいで、兄から話を聞くうちに興味も湧いてきたんです。しかし、それ以前から技術系の職業に就き



たいと思っていました。歯学部に入る前に1度、別の大学の工学部に入学しているんですよ。車のデザインとか、環境デザインをしたと覚えていました。でも、工学部に通いながら歯科医師に対する興味もさらに強まってきたんです。そして、歯科医師なら自分の技術で道を切り開けるのではないかと考えたんです。歯科医師になったばかりの兄も、自分が頑張ることで患者さんに喜んでもらえる、そこにやり甲斐があると言っていて、そんな話にもまた心が動かされました。そして一念発起して、歯学部を受験し直したんです。

—お忙しい日々の中でのリフレッシュ法を教えてください。

自由な時間ができれば海に行きます。歯科医師になったばかりの頃、当時はウインドサーフィンが流行っていて、高校

の頃の友達と一緒に始めたんです。以来、サーフィンも行うようになりましたし、スタンドアップパドルボードも行うようになりました。サーフボードの上に立ったまま乗って、オールを使ってパドルをするタイプのサーフィンです。とにかく、海に行くこと自然の中に行くと体がリフレッシュになるんですよ。夕焼けを見たり、景色の中に行かれることがうれしくて(笑)。ただ、勉強会に頻繁に出るようになってからは、海に行く回数も少なくなりました。今でも、月に1度行けるかどうかです。海は大好きですが、それよりも大切なことがありますから、しょうがないですね(笑)。

—最後に読者へのメッセージをお願いします。

まずは、ご自分のお口の中のことに興味を持っていただきたいと思っています。年に1度、健康診断や人間ドックを受けられるように、歯科での検診も受診されるのがいいでしょうか。歯科医院に行くのは、どこかが痛くなってから、という場合が多いと思うんですよ。でもその時には、病気がかなり進んでしまっていることが少なくないです。治療にも時間がかかってしまいます。歯は、生きていくうえで必要な食事に、会話に必要な臓器です。なくなると初めて大切さに気が付きます。そうならないように、是非とも定期的にチェックをしていただきたいと思っています。お近くの方で、何かお困りのことがあればお気軽にお越しください。豊島区で生まれ育ちましたので、子どもの頃から池袋にもよく来ていました。愛着のあるこの地で、地域の皆さまがお口の健康を維持していただけるよう、サポートができたらしらうれしいですね。

# Doctor's File

ドクターズ・ファイル

